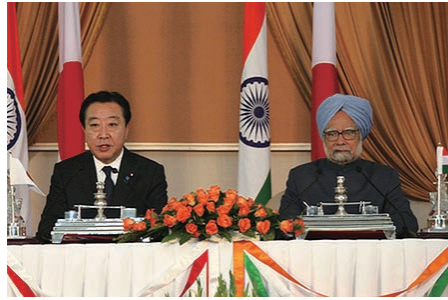


# ココシリ

「ここが知りたい」  
国際協力に関係する  
いろんなトピックを  
分かりやすく解説します！



2012年日インド国交樹立60周年に先立ち、経済面・政治面について協議した両首相（提供：内閣広報室）

2012年は「日インド国交樹立60周年」。それに先立ち昨年12月27～29日、野田佳彦内閣総理大臣がインドを訪問。マンモハン・シン首相と首脳会談を行った。そこで話し合われたことは――。

まず、政治・経済をはじめとする二国間関係について。両首脳は2012年の国交樹立60周年を機に国民レベルの相互理解を深めるため、文化行事や人材交流を行っていくことで一致。政治面では、年次首脳会談の継続の重要性に加え、海上安全保障の分野での協力の拡大を確認した。

経済面に関して野田総理は、「デリー・ムンバイ間産業大動脈構想（DMIC）」に対して今後5年間で45億ドル規模の資金面での協力をを行うことを表明。同構想の

## 野田総理大臣インド訪問 国交樹立60周年を機に パートナーシップを強化！

インド

実現に向けて両国は、日本企業の参加促進や金融の規制緩和、モデル案件の早期実現などに取り組むことで合意した。さらに、インド南部のインフラ整備、チェンナイ・バンガロール間の連結性向上、インドの高速鉄道構想に関する協力関係の強化を確認。日本はデリー・メトロの建設（デリー高速輸送システム建設計画Ⅲ）を含む2件の円借款（総額約1343億円）の供与も決定した。

また、地域情勢・地球規模課題を含む幅広い分野での協力関係の促進についても意見交換を行った。会談後、これらの内容を盛り込んだ「国交樹立60周年を迎える日インドの戦略的グローバル・パートナーシップ強化に向けたビジョン」と題する共同声明に署名した。

**インド概要**

面積：328万7,263km<sup>2</sup>  
人口：12億1,000万人  
首都：ニューデリー  
公用語：ヒンディー語  
宗教：ヒンドゥー教(80.5%)、イスラム教(13.4%)、キリスト教(2.3%)、シク教(1.9%)など  
主要産業：農業、工業、鉱業、IT産業  
一人当たりGDP(国民総生産)：1,265ドル(2010年)  
経済成長率：8.5%(2010年)  
日本との貿易額：1兆2,884億円(2010年)  
日本からインドへの直接投資額：2,411億円(2010年)

## 「平成24年度ODA予算(外務省所管分)」 ODA予算から見る 来年度の重点課題とは!?



震災復興の一環として、ODAでも日本(被災地)の経験・教訓や技術を積極的に活用していく予定

昨 年末、平成24年度のODA予算(一般会計)の政府案が発表された。その額は前年度比2%減の5612億円と、13年連続の減少となった。しかし一方で、外務省分のODA予算は0.3%増の4180億円、開発途上国に対する二国間ODAは前年度比3.2%増の3070億円と増額に転じるなど、明るい兆しも見えた。また、平成23年度予算で国際機関への拠出が大幅増となったことを考えると、長年減少傾向にあったODA予算の「反転の端緒」を開いたといえる。

平成24年度ODA予算の主な特徴を見てみよう。一つ目の特徴は、新たな成長への取り組みとして「パッケージ型インフラ海外展開」を拡大し、アジアだけでも約8兆ドルが見込まれる途上国のインフラ需要にこたえていくことで世界の活力を日本に取り込み、東日本震災の被災地を含む国内の危機の克服に貢献していくこと。また、水力や太陽光、蓄電池技術など新エネルギー分野における日本の技術を活用し、途上国のグリーン成長や多様性のあるエネルギー社会の実現を後押しすることも新たな成長への取り組みの一つだ。さらに、中小企業など日本企業の優れた技術やノウハウを、資産としてODAにも活用することで、途上国の開発を支援しつつ、日本企業の海外での事業展開を推進する方針だ。

もう一つの特徴は、東日本大震災の際に世界中から寄せられた支援や温かい気持ちにこたえる意味でも、二国間ODAのみならず、必要な国際機関への拠出も確保したこと。これは、2015年に達成期限を迎えるミレニアム開発目標(MDGs)や、08年の第4回アフリカ開発会議(TICAD IV)で表明したアフリカ支援に加え、アフガニスタンを再びテロの温床としないための支援は、日本をはじめ国際社会の平和と安定に不可欠であり、これまで日本が表明してきた国際公約を誠実に実施していくことが重要だとの考えに立ったものだ。この国際機関への拠出については為替変動の影響もあり、円ベースでの予算計上額は低く抑えることができた。それでも、MDGsなど国際公約の実現に不可欠なものや、東日本大

### ■平成24年度ODA予算(政府案)

外務省所管	一般会計	特別会計 (復旧・復興枠)	合計
無償資金協力	1,616億円 (6.4%増)	—	1,616億円 (6.4%増)
技術協力 (JICA運営交付金)	1,454億円 (0.2%減)	—	1,454億円 (0.2%減)
分担金・拠出金	512億円 (15.6%減)	—	512億円 (15.6%減)
その他	599億円 (1.8%増)	1億円 (—)	600億円 (2.0%増)
計	4,180億円 (0.3%増)	1億円 (—)	4,182億円 (0.3%増)

(注)カッコ内は前年度比。四捨五入の関係上、合計に不一致あり。



1月17～22日はNHK広島放送局で展示

日本が戦後最悪といわれる大災害に見舞われてから、まもなく1年がたとうとしている。東日本大震災では、世界中から温かい支援が届けられ、その中には開発途上国をはじめ決して豊かではない国・地域も多かった。「日本が再び立ち上がることを強く確信している」(チリ)、「たくさん援助をしてくれた日本を、今度は私たちが助けたい」(インドネシア)、「1999年の地震で最も早く救助隊を送ってくれた一つが日本。その恩返しをしたい」(トルコ)、「日本の皆さんはきつこの困難を乗り越えられるはず。絶対にあきらめないで」(ケニア)といったメッセージに励まされた人も多いだろう。

外務省では、こうした各国・地域から寄せられた支援を振り返るとともに、私たち日本人が世界との絆、

東日本大震災

## 『絆』の絵プロジェクト 東北の子どもたちの絵 各地のNHK放送局で展示

### ■「絆」の絵プロジェクト 今後の展示予定

2月	
8日(水)～14日(火)	NHK大阪放送局
18日(土)～23日(木)	NHK神戸放送局
24日(金)～29日(水)	NHK青森放送局
3月	
1日(木)～11日(日)	NHK新潟放送局
16日(金)～21日(水)	NHK仙台放送局
24日(土)～30日(金)	NHK福島放送局

や、国際社会との相互依存への理解を深めるきっかけにしてほしいと、NHK(日本放送協会)と連携し、今年1月から「絆」の絵の展示を各地の放送局で行っている。

展示されているのは各国・地域の緊急援助隊が被災地で活動している写真、各国の在外公館やJICAの海外事務所が集められた応援のメッセージや絵、そして、応援に込めて「力強く復興した東北の姿」や「将来の夢」、「世界からの支援に感謝」などをテーマに被災地東北の子もたちが描いた絵の数々。1月のNHK広島放送局を皮切りに、大阪、神戸、青森、新潟、仙台、福島と順次開催される予定。

子どもたちの真つすぐな想いや願いが込められた作品から、世界と日本との絆をあらためて感じられるはずだ。